

2025（令和7）年度

# 「運営に関する計画」

自己評価  
最終反省

大阪市立我孫子南中学校

2026（令和8）年3月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校では保護者・地域のご理解ご協力のもと特色ある教育活動を通して、生徒の主体性が高まる取組を推進している。生徒が自ら深く考え、お互いを尊重することにより、これまで以上に落ち着いて教育活動が行われている。現状のさらなる改善に加え、表面に表れにくい「いじめ」や「不登校」、さらには生活リズム等の問題についても一層力を入れていきたい。また、各調査及びチャレンジテスト等の経年比較から課題を分析し、学力の向上を図る取組の推進に努めていく。

**【学力の向上】**

○令和6年度の全国学力・学習状況調査において、国語の全国比では、平均正答率が**8.1**ポイント低くなっている。読む力を高めるために、読書の習慣を身につけさせるなど、文字を読む機会を増やし、読書活動に興味を持てる指導を行っていくとともに、図書館開放を継続していく。数学の全国比では、平均正答率が**9.8**ポイント低くなっている。ICTを積極的に活用するなど、情報を読み取り整理する能力を身に着けるため興味関心を引き出す授業を意識し、基礎学力の向上を図る。また、生徒質問紙の項目において「先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の肯定的な回答割合が**80.7%**となり、全国84.9%、府85.3%と比較しても低い数値である。これらの課題解決に向け、個別最適な学びを意識し、生徒の課題に応じた指導が定着するよう自己研鑽に努めつつ授業力向上につながる取組を実践していく。

○全教科で学習者用端末を常に活用し、自らの課題に向き合わせ、効率的な授業の工夫を継続していく。また、自学自習・家庭学習の習慣化に一層努めていく。

**【道徳心・社会性の育成】**

○年度末の学校アンケートの結果から、「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」等の項目で、肯定的な回答の割合が高く、本校の人権教育を基調とした日々の継続した指導のたまものであると考える。今後もさらに人権教育を基調とした指導を続け、道徳心・社会性を高めていきたい。

**【健康・体力の保持管理】**

○令和6年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、肯定的回答の割合が本校令和5年度の値を**0.9**ポイント上回った。今後も食育に重点を置き、給食喫食日を増やすなどの指導計画を改善することで、健全な食生活を実現させ、心身の健康と豊かな人間形成に努める。

○令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女ともに50m走以外の種目は全国平均を下回った。ただ、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目において、肯定的回答が男女とも全国平均を上回った。保健体育の授業だけでなく、校内行事でも運動に対する興味関心をもたせ、体力の向上を図る取組の成果が少しずつ表れている。今後も習得した知識を実生活に活かせるよう、教科等横断した授業計画を図るなどのさらなる工夫が必要である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。(R7) **78.4%**
- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を3%以下にする。(R7) **3%**
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を0%にする。(R7) **3%**
- ・令和7年度までに不登校生の割合を10%以下にする。(R7) **19.41%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合90%以上を維持する。(R7) **89.9%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしようとして心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合90%以上を維持する。(R7) **97%**

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的回答の割合を89%以上にする。(R7) **79.9%**
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「子どもは、授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。(R7) **69.6%**
- ・令和7年度までに生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を82%以上にする。(R7) **79.9%**
- ・令和7年度までに全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均を上回る種目を(男女ともに)2つ以上にする。(R7) **※男子0種目、女子4種目達成**
- ・令和7年度までに保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故の防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を90%以上にする。(R7) **92.9%**
- ・図書館の整備、自主学習、放課後学習を推進する。(R7) **2月20日時点延べ2,791人**

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度までに授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R7：1月時点) **2.7%**
- ・令和7年度までに「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合(年間平均)を46%以上にする。(R7：1月時点) **50.8%**

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 学校の年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。  
(R6) **71.9%**→(R7) **95%**
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を10%以下にする。  
(R6) **13.65%**→(R7) **19.41%**
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。※「指導の結果登校する又はできるようになった生徒の割合」(R6) **12.5%**→(R7) **42.3%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。(R6) **80.6%**→(R7) **78.4%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を昨年度以下にする。(R6) **0.07%**→(R7) **3%**
- ・年度末の保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を0%にする。  
(R6) **3%**→(R7) **3%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。(R6) **88%**→(R7) **89.9%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を98%以上にする。(R6) **97%**→(R7) **97%**

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を27%以上にする。(R6) **26.3%**→(R7) **24%**
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
  - \*国語：現2年(0.90→**0.89**)、現3年(0.88→**93.1**)
  - \*数学：現2年(0.91→**0.84**)、現3年(0.83→**90.4**)
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を49%以上にする。(R6) **48.7%**→(R7) **31.3%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、同一母集団において肯定的回答の割合を昨年度以上かつ89%以上にする。
  - \*現2年：(90%→**83.3%**)
  - \*現3年：(**73%**→**90.6%**)
- ・年度末の保護者アンケートにおける「子どもは、授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を昨年度以上かつ82%以上にする。  
(R6) **83.8%**→(R7) **69.6%**
- ・年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を昨年度以上かつ82%以上にする。(R6) **79%**→(R7) **79.9%**
- ・図書館の整備、自主学習、放課後学習を推進する。(R6) 3月10日時点延べ2,459人→(R7) **2月20日時点延べ2,791人**

- ・令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、いずれかの種目で男女ともに全国平均を2つ以上、上回るようにする。(R6) **男女ともに 50m走以外は下回る**→(R7) **男子0種目、女子4種目達成**
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故の防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を90%以上にする。  
(R6) **85%**→(R7) **92.9%**

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R6) **0%**→(R7: 1月時点) **2.7%**
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合(年間平均)を46%以上にする。(R6) **45.4%**→(R7: 1月時点) **50.8%**
- ・教職員の長時間勤務解消を図り、時間外勤務時間上限基準の達成率を各月において昨年度以上にする。(R7) **すべての月において達成**

### 3 本年度の自己評価結果の総括(中期目標の達成状況)

#### 【安全・安心な教育の推進】

取組は計画的に進めたが大半の項目において目標の数値を達成できなかった。

全国的にも不登校生徒は増加傾向にあり、本校においても不登校在籍率は昨年度よりも増加している。誰一人取り残さない教育活動を推進するため、教職員の日々の家庭連絡・訪問を始め、区役所との連携や自立アシスト支援を活用した登校および学習サポートを推進することで、不登校生徒の改善の割合は前年度より向上した。また、教室になじめない生徒のオンライン授業等に対応するスペシャルサポートルームの設置を進め、さらなる改善をめざす。

心の天気の利用を始め、年5回以上のいじめアンケートや教育相談を実施し、生徒の悩み等、把握することに努め、いじめの未然防止及び早期解決に向けた体制を構築した。

学校ホームページやミマモルメを活用した情報発信、地域学習、公立大学との連携を図り、開かれた学校づくりを推進し、今後もさらなる工夫と発展をめざす。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

取組は計画的に進めたが大半の項目において目標の数値を達成できなかった。

学力・学習調査等、数値の平均は全国・府・市に比べ全学年とも下回っている。基礎学力の定着と個別最適な学習サポートの充実を図るため、習熟度別学習を推進する。また、令和8年度より1年生の国語・数学における学習支援に向けた国・数学びサポーターを配置し、学力の伸び悩む生徒への個別支援の充実を図る。

図書館を利用する生徒は昨年度より増加している。学校司書、学びコラボレーター、学校元気アップと連携し、読書、自主学習、文化活動を目的に来館する生徒が落ち着いて活動できるよう工夫に努めた。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

概ね目標の数値を達成しているが、活用率・日数については大きく課題が残る。

終業式をオンラインで実施し、生徒の振り返りをアンケート形式で行ったり、新しく更新されたタブレットを用いた持ち帰りによる家庭学習の推進を図ったりした。また、今後実施検証予定のバーチャル登校システムを活用し、不登校生徒を主な対象とした相談・登校支援を推進することで、誰一人取り残さない学習環境を充実させる。

教職員の業務効率化や時間外勤務時間の解消を推進し、成果がみられた。また、教職員が育児と仕事の両立等、安心して働ける環境づくりに努めた。

## 大阪市立我孫子南中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。(R6) <b>71.9%</b>→(R7) <b>79%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を10%以下にする。(R6) <b>13.65%</b>→(R7) <b>19.41%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。※「指導の結果登校する又はできるようになった生徒の割合」(R6) <b>12.5%</b>→(R7) <b>42.3%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を82%以上にする。(R6) <b>80.6%</b>→(R7) <b>78.4%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を昨年度以下にする。(R6) <b>0.07%</b>→(R7) <b>3%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の保護者アンケートにおける「先生は学校でのいじめなどについて、しっかりと対応してくれる。」の項目について「まったくあてはまらない」の割合を0%にする。(R6) <b>3%</b>→(R7) <b>3%</b> <b>方向1</b></li> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「命の大切さや社会のルールについて考える機会がある」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。(R6) <b>88%</b>→(R7) <b>89.9%</b> <b>方向2</b></li> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「互いを理解し合い、仲間や自分を大切にしよう」と心がけている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を99%以上にする。(R6) <b>97%</b>→(R7) <b>97%</b> <b>方向2</b></li> </ul>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭の連携を密にし、「いじめ」を絶対許さない取組を推進する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回のいじめアンケート調査を実施し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向けて教職員の連携を密にする。(R6) 年3回実施→(R7) <b>年5回以上実施</b></li> <li>・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を86%以上にする。(R6) <b>85%</b>→(R7) <b>85.7%</b></li> </ul>	<b>A</b>

<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、委員会の生徒だけではなく、全生徒が参加する「朝のあいさつ運動」を推進する。</li> <li>・「時間を守り規則正しい生活を心がける」「学校のルールやマナーを守る」の2点について、家庭と連携しながら全教職員で指導する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を88%以上にする。(R6) <b>87%</b> → (R7) <b>86.9%</b></li> <li>・年度末の保護者アンケートにおける「学校は雰囲気良く、子どもたちが生き生きとしている」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を87%以上にする。(R6) <b>86%</b> → (R7) <b>81%</b></li> </ul>	B
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識や仲間意識が向上する学校行事を実施する。</li> <li>・生徒一人ひとりが、互いの人権を尊重し合える教育を推進する。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の生徒アンケートにおける「学校行事（体育大会、文化発表会、校外学習・泊行事、学年行事）に、しっかり取り組んでいる」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を99%以上にする。(R6) <b>98%</b> → (R7) <b>93.5%</b></li> <li>・年度末の保護者アンケートにおける「学校では、特色ある教育活動が行われている（学校行事等）」の項目について、「よくあてはまる」と「大体あてはまる」の割合を88%以上にする。(R6) <b>87%</b> → (R7) <b>85.7%</b></li> </ul>	B

<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止・早期解決に向けた組織的な取組を図ることにより、教職員および生徒の意識は向上している。学校行事では、生徒の規範意識に対する指導に連携不足があり、行事の進行に多大な影響を及ぼした。</li> </ul>	
<p>次年度への改善点</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識や仲間意識が向上する特色ある学校行事の発展に努め、教職員の指導体制を強化する。また、生徒の多様性を包摂した指導の在り方について教職員間で共有し、地域等と連携した取り組みを推進する。</li> </ul>	

## 大阪市立我孫子南中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を27%以上にする。(R6) <b>26.3%</b> → (R7) <b>24%</b> <b>方向4</b></li> <li>中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*国語: 現2年 (0.90→<b>0.89</b>)、現3年 (0.88→<b>93.1</b>) <b>方向4</b></li> <li>*数学: 現2年 (0.91→<b>0.84</b>)、現3年 (0.83→<b>90.4</b>)</li> </ul> </li> <li>大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を49%以上にする。(R6) <b>48.7%</b> → (R7) <b>31.3%</b> <b>方向4</b></li> <li>年度末の生徒アンケートにおける「授業はわかりやすい」の項目について、同一母集団において肯定的回答の割合を昨年度以上にする。 <b>方向4</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>*現2年: (90%→<b>83.3%</b>)</li> <li>*現3年: (<b>73%</b>→<b>90.6%</b>)</li> </ul> </li> <li>年度末の保護者アンケートにおける「子どもは授業はわかりやすいと言っている」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。(R6) <b>83.8%</b> → (R7) <b>69.6%</b></li> <li>年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について肯定的回答の割合を昨年度以上にする。(R6) <b>79%</b> → (R7) <b>79.9%</b> <b>方向5</b></li> </ul>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な校内研修を計画し、教員の授業力を向上させる。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」の視点から行う授業改善に向けての校内研究授業を年間2回以上行い、授業力を高め合う。(R6, R7) <b>教育委員会より教科担当指導主事を招聘し、年3回の校内研究授業を実施</b></li> <li>小学校との相互参観授業にできるだけ多くの教員が参加し、互いに切磋琢磨することを推進する。(R6, R7) <b>年2回、授業参観および小学校への出前授業を実施</b></li> </ul>	<b>A</b>
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業をすることを推進する。</li> <li>基礎基本の定着を図るため、効果的な授業形態を確立する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度末の生徒アンケートにおける「授業では、自分の意見や与えられた課題を発表したりすることがよくある」の項目について、肯定的回答の割合を51%以上にする。(R6) <b>50%</b> → (R7) <b>63.3%</b></li> <li>年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもたちが学力充実のために努力・工夫してくれている」の項目について、肯定的回答の割合を79%以上にする。(R6) <b>78%</b> → (R7) <b>76.2%</b></li> </ul>	<b>B</b>

<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の育成につなげるため、学校司書を中心に図書室の整備に努め、学校元気アップ支援、学力向上支援事業のスタッフと連携し、放課後学習等、図書室の利用率を向上させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をホームページや配布プリントを利用して、各家庭に周知する。(R6) 毎月1回発行→(R7) 学期に1回、または適宜発行</li> <li>・年間利用人数を昨年度以上にする。(R6) 3月10日時点延べ2,459人→(R7) 2月20日時点延べ2,791人</li> </ul>	A
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業や部活動において基礎体力の向上をめざす運動を推進する。</li> <li>・熱中症等予防講習会等を開き、体調管理を自分で行えるようになるよう推進する。</li> <li>・食育や健康について、実生活との関連性を図り、健康に対する関心を向上させる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、生徒の健康教育や安全指導・事故防止対策を行っている」の項目について肯定的回答の割合を85%以上にする。(R6) 85%→(R7) 92.9%</li> <li>・「食育通信」「保健便り」をそれぞれ毎月1回発行し、健康に対する関心を高めさせる。(R6, R7) 毎月1回発行</li> </ul>	A

<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>取組内容【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>教職員の資質・授業力向上をめざした校内研修や小中連携、重点支援による学びサポーターの配置等、学力向上に向けた取組を計画通り進めたが、学力・学習調査等における数値では目標を下回る結果となった。</p> <p>「健やかな体の育成」において指標は達成しているが、全国体力・運動能力調査における男子の数値は全国比で下回り、生徒の運動に対する意欲・関心にも課題が残る。</p>
<p>次年度への改善点</p>
<p>習熟度別学習の推進や令和8年度より1年生の国語・数学における学習支援に向けた国・数学びサポーターによる個別支援の充実を図り、経年的な成果を検証し、改善に努める。また、スペシャルサポートルームを活用した不登校生徒や日本語指導を必要とする生徒への学習支援等、多様性を包摂した学習環境を充実させる。</p> <p>女子生徒の体力は、全国と比較しても昨年度より向上しており、成果を共有したり、男女共修のさらなる推進を図ったりすることで、男女ともに体力及び運動に対する意欲・関心が高まるよう取組を進める。</p>

## 大阪市立我孫子南中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R6) <b>0%</b> →(R7: 1月時点) <b>2.7%</b> <b>方向6</b> ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合(年間平均)を46%以上にする。 (R6) <b>45.4%</b> →(R7: 1月時点) <b>50.8%</b> <b>方向7</b>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ・効果的にデジタルドリル等を活用し、個別最適な学びを推進する。 ・ICTを主体的に活用させ、情報活用能力を高めながら、情報化社会で生き抜く力を身に付けさせる。	<b>B</b>
指標 ・学習者用端末利活用率における「80%以上」(累計)の項目について、中間および年度末時点の数値を昨年度以上にする。(R6) <b>0%</b> →(R7: 2月時点) <b>2.7%</b> ・ICTを用いて情報を活用させて回答させる課題を月1回以上行う。 (R6, R7) <b>いずれかの教科で月1回以上実施</b>	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・業務内容を細分化し役割分担を行うとともに、組織的に業務を遂行することにより、仕事の効率化を図る。	<b>A</b>
指標 ・教職員の長時間勤務解消を図り、平均時間外勤務の改善を推進する。 (R7) <b>すべての月において達成</b>	

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容【基本的な方向6 教育DXの推進】 心の天気や終業式におけるTeamsの活用、学習者用端末の持ち帰りによる家庭学習の推進等、活用の場面は昨年度より増加している。 教職員の働き方に対する意識向上を図ることで、ICTを活用した業務効率化が進んだり、時間外勤務時間の解消が数値として改善が見られたりした。
次年度への改善点
「生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数」に大きな課題がある。方策の一つとして、今後実施検証予定のバーチャル登校システムを活用した相談・登校支援による誰一人取り残さない学習環境を充実させることで改善を図る。また、スペシャルサポートルームを活用した教室になじめない生徒のオンライン授業や日本語指導員を配置した支援活動を推進する。